

授業科目	ソーシャルワークの理論と方法（専門）B					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	笠 修彰						
授業概要	本講義では、精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について、具体的な事例を取り上げながら解説する。また、精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織における運営管理や介入、活動展開に関する概念と方法について学ぶとともに、ソーシャルワークの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性と重層性を踏まえ解説する。さらに、精神保健福祉分野以外での精神保健福祉士の実践展開についても解説する。						
授業形態	対面授業			授業方法	グループワークやディスカッションを取り入れる。		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	①精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・他機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 ②精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。 ③個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。 ④精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。
理想的レベル	標準レベルに加え、本科目で学習した知識について、援助場面での活用をイメージし、具体的な展開を考えることができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	65%	
小テスト	0	
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	25%	授業に臨む姿勢や態度、積極性、参加意欲等

## カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21306J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

講義範囲のテキストの事前及び事後通読	4
--------------------	---

## 授業計画

第1回	オリエンテーション 授業概要や授業計画等の確認、本科目の学習のポイント
第2回	チームアプローチ① 多職種連携・多機関連携の意義と目的、連携に関わる概念整理
第3回	チームアプローチ② 多職種連携・多機関連携の留意点

第4回	チームアプローチ③ チームビルディングとチームの形態・特徴
第5回	チームアプローチ④ 多職種連携・多機関連携の必要性と精神保健福祉士の役割
第6回	精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーション① 組織と精神保健福祉士の関係性
第7回	精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーション② 組織介入・組織改善の実践モデル
第8回	精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーション③ ソーシャルアドミニストレーションの展開方法
第9回	精神保健福祉分野におけるソーシャルアドミニストレーション④ 人材確保と人材育成
第10回	関連分野における精神保健福祉士の実践展開① 学校・教育分野における実践展開
第11回	関連分野における精神保健福祉士の実践展開② 産業分野における実践展開
第12回	関連分野における精神保健福祉士の実践展開③ 司法分野における実践展開
第13回	関連分野における精神保健福祉士の実践展開④ 災害分野における実践展開
第14回	総まとめ① 本科目での学びを振り返り、総括する。
第15回	総まとめ② 本科目での学びを振り返り、総括する。
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『ソーシャルワークの理論と方法〔精神専門〕』中央法規 最新版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書・教材等／データベース・雑誌等の紹介 「我が国の精神保健福祉」厚労省障害保健福祉部精神・障害保健課監修最新版 「精神保健福祉白書」中央法規最新版
課題に対するフィードバックの方法	課題に関しては、次の授業の際にポイントを整理しフィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	精神保健福祉士の国家試験指定科目であることから、精神保健福祉士に関連する講義を既修もしくは履修中であることが望ましい。 より理解を深めていくために、必ず事前に教科書を一読しておいてください。